



サイトの追加と削除

- [Cisco NDO と APIC の相互運用性のサポート \(1 ページ\)](#)
- [Adding Cisco ACI Sites, on page 3](#)
- [サイトの削除 \(5 ページ\)](#)
- [ファブリック コントローラへの相互起動 \(6 ページ\)](#)

Cisco NDO と APIC の相互運用性のサポート

Cisco Nexus Dashboard Orchestrator (NDO) では、すべてのサイトで特定のバージョンの APIC を実行する必要はありません。各サイトの APIC クラスタと NDO 自体は、Nexus Dashboard Orchestrator サービスがインストールされている Nexus ダッシュボードにファブリックをオンボードできる限り、相互に独立してアップグレードし、混合動作モードで実行することができます。そのため、常に Nexus Dashboard Orchestrator の最新リリースにアップグレードしておくことをお勧めします。

ただし、1つまたは複数のサイトで APIC クラスタをアップグレードする前に NDO をアップグレードすると、新しい NDO の機能の一部が、以前の APIC リリースでまだサポートされていないという状況が生じ得ることに注意してください。この場合、各テンプレートでチェックが実行され、すべての設定済みオプションがターゲットサイトでサポートされていることを確認します。

このチェックは、テンプレートを保存するか、テンプレートを展開するときに実行されます。テンプレートがすでにサイトに割り当てられている場合、サポートされていない設定オプションは保存されません。テンプレートがまだ割り当てられていない場合は、サイトに割り当てることができますが、サイトがサポートしていない設定が含まれている場合は、スキーマを保存したり展開したりすることはできません。

サポートされていない設定が検出されると、エラーメッセージが表示されます。例: この APIC サイトバージョン<site version>は、NDO ではサポートされていません。この<feature>に必要な最小バージョンは<required-version>以降です。

次の表に、各機能と、それぞれに必要な最小限の APIC リリースを示します。



(注) 次の機能の一部は、以前の Cisco APIC リリースでサポートされていますが、Nexus ダッシュボードにオンボードし、このリリースの Nexus Dashboard Orchestrator で管理できる最も古いリリースは、リリース 4.2(4) です。

機能	最小バージョン
ACI マルチポッドのサポート	リリース 4.2(4)
サービス グラフ (L4~L7 サービス)	リリース 4.2(4)
外部 EPG	リリース 4.2(4)
ACI 仮想エッジ VMM のサポート	リリース 4.2(4)
DHCP Support	リリース 4.2(4)
整合性チェッカー	リリース 4.2(4)
vzAny	リリース 4.2(4)
ホストベースのルーティング	リリース 4.2(4)
CloudSec 暗号化	リリース 4.2(4)
レイヤ 3 マルチキャスト	リリース 4.2(4)
OSPF の MD5 認証	リリース 4.2(4)
EPG 優先グループ	リリース 4.2(4)
サイト内 L3Out	リリース 4.2(4)
QoS の優先順位	リリース 4.2(4)
コントラクト QoS 優先順位	リリース 4.2(4)
シングルサインオン (SSO)	リリース 5.0(1)
マルチキャストランデブーポイント (RP) のサポート	リリース 5.0(1)
AWS および Azure サイトのトランジットゲートウェイ (TGW) サポート	リリース 5.0(1)
SR-MPLS サポート	リリース 5.0(1)
クラウド ロードバランサ 高可用性ポート	リリース 5.0(1)

機能	最小バージョン
UDR を使用したサービスグラフ (L4-L7 サービス)	Release 5.0(2)
クラウドでのサードパーティデバイスのサポート	Release 5.0(2)
クラウドロードバランサのターゲット接続モード機能	Release 5.1(1)
Express Route 経由で到達可能な非 ACI ネットワークの Azure でのセキュリティおよびサービス挿入サポート	Release 5.1(1)
CSR プライベート IP サポート	Release 5.1(1)
Azure のクラウドネイティブ サービスの ACI ポリシー モデルと自動化の拡張	Release 5.1(1)
Azure の単一 VNET 内での複数の VRF サポートによる柔軟なセグメンテーション	Release 5.1(1)
Azure PaaS および サードパーティ サービスのプライベート リンク 自動化	Release 5.1(1)
ACI-CNI を使用した Azure での OpenShift 4.3 IPI	Release 5.1(1)
クラウド サイト アンダーレイ の設定	リリース 5.2(1)

Adding Cisco ACI Sites

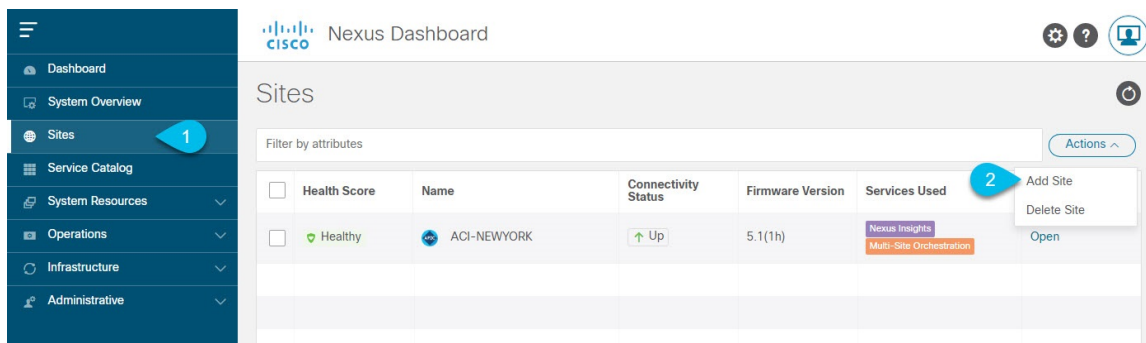
This section describes how to add a Cisco APIC or Cloud APIC site using the Nexus Dashboard GUI and then enable that site to be managed by Nexus Dashboard Orchestrator.

Before you begin

- If you are adding on-premises ACI site, you must have completed the site-specific configurations in each site's APIC, as described in previous sections in this chapter.
- You must ensure that the site(s) you are adding are running Release 4.2(4) or later.

ステップ 1 Log in to the Nexus Dashboard GUI

ステップ 2 Add a new site.



- a) From the left navigation menu, select **Sites**.
- b) In the top right of the main pane, select **Actions** > **Add Site**.

ステップ3 Provide site information.

- a) For **Site Type**, select **ACI** or **Cloud ACI** depending on the type of ACI fabric you are adding.
- b) Provide the controller information.
 - You need to provide the **Host Name/IP Address**, **User Name**, and **Password**, for the APIC controller currently managing your ACI fabrics.
 - Note** For APIC fabrics, if you will use the site with Nexus Dashboard Orchestrator service only, you can provide either the in-band or out-of-band IP address of the APIC. If you will use the site with Nexus Dashboard Insights as well, you must provide the in-band IP address.
 - For on-premises ACI sites managed by Cisco APIC, if you plan to use this site with Day-2 Operations applications such as Nexus Insights, you must also provide the **In-Band EPG** name used to connect the Nexus Dashboard to the fabric you are adding. Otherwise, if you will use this site with Nexus Dashboard Orchestrator only, you can leave this field blank.

- For cloud ACI sites, **Enable Proxy** if your cloud site is reachable via a proxy.

Proxy must be already configured in your Nexus Dashboard's cluster settings. If the proxy is reachable via management network, a static management network route must also be added for the proxy IP address. For more information about proxy and route configuration, see [Nexus Dashboard User Guide](#) for your release.

- c) Click **Add** to finish adding the site.

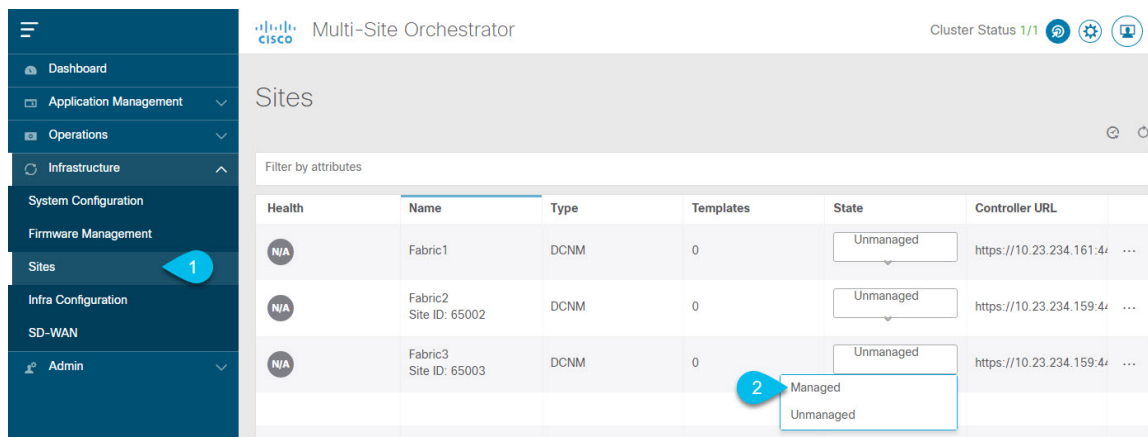
At this time, the sites will be available in the Nexus Dashboard, but you still need to enable them for Nexus Dashboard Orchestrator management as described in the following steps.

ステップ 4 Repeat the previous steps for any additional ACI sites.

ステップ 5 From the Nexus Dashboard's **Service Catalog**, open the Nexus Dashboard Orchestrator service.

You will be automatically logged in using the Nexus Dashboard user's credentials.

ステップ 6 In the Nexus Dashboard Orchestrator GUI, manage the sites.



- a) From the left navigation menu, select **Infrastructure** > **Sites**.
- b) In the main pane, change the **State** from **Unmanaged** to **Managed** for each fabric that you want the NDO to manage.

サイトの削除

ここでは、Nexus Dashboard Orchestrator GUI を使用して 1 つ以上のサイトのサイト管理を無効にする方法について説明します。サイトは Nexus ダッシュボードに残ります。

始める前に

削除するサイトに関連付けられているすべてのテンプレートが展開されていないことを確認する必要があります。

ステップ 1 Nexus Dashboard Orchestrator GUI を開きます。

Nexus ダッシュボードの **サービス カタログ** から NDO サービスを開きます。Nexus ダッシュボードユーザーのクレデンシャルを使用して自動的にログインします。

ステップ 2 サイトのアンダーレイ設定を削除します。

- 左側のナビゲーションメニューで、[インフラストラクチャ (Infrastructure)] > [インフラの設定 (Infra Configuration)] を選択します。
- メインペインにある [インフラの設定 (Configure Infra)] をクリックします。
- 左側のサイドバーで、管理対象から外すサイトを選択します。
- 右側のバーの [オーバーレイの設定 (Overlay Configuration)] タブで、[Multi-Site] ノブを無効にします。
- 右側のサイドバーで、[アンダーレイ設定 (Underlay Configuration)] タブを選択します。
- サイトからすべてのアンダーレイ設定を削除します。
- [展開 (Deploy)] をクリックして、アンダーレイとオーバーレイの設定変更をサイトに展開します。

ステップ 3 Nexus Dashboard Orchestrator GUI で、サイトを無効にします。

- 左のナビゲーションメニューから、[インフラストラクチャ (Infrastructure)] > [サイト (Sites)] を選択します。
- メインペインで、NDOで管理する各ファブリックの [状態 (State)] を [管理対象 (Managed)] から [非管理対象 (Unmanaged)] に変更します。

(注) サイトが 1 つ以上の展開済みテンプレートに関連付けられている場合、それらのテンプレートを展開解除するまで、その状態を [非管理対象 (Unmanaged)] に変更することはできません。

ステップ 4 Nexus ダッシュボードからサイトを削除します。

このサイトを管理したり、他のアプリケーションで使用したりする必要がなくなった場合は、Nexus ダッシュボードからもサイトを削除できます。

(注) この時点で、このサイトは、Nexus Dashboard クラスタにインストールされているどのアプリケーションでも使用されていないことに注意してください。

- Nexus ダッシュボード GUI の左側のナビゲーションメニューから、[サイト (Sites)] を選択します。
- 削除するサイトを 1 つ以上選択します。
- メインペインの右上にある [アクション (Actions)] > [サイトの削除 (Delete Site)] をクリックします。
- サイトのログイン情報を入力し、[OK] をクリックします。

Nexus ダッシュボードからサイトが削除されます。

ファブリックコントローラへの相互起動

Nexus Dashboard Orchestrator は現在、ファブリックのタイプごとに多数の設定オプションをサポートしています。追加の多くの設定オプションでは、ファブリックのコントローラに直接ログインする必要があります。

NDO の [インフラストラクチャ (Infrastructure)] > [サイト (Sites)] 画面から特定のサイトコントローラの GUI にクロス起動するには、サイトの横にあるアクション (...) メニューを選択し、

ユーザー インターフェイスで **[開く (Open)]** をクリックします。クロス起動は、ファブリックのアウトオブバンド (OOB) 管理IPで動作することに注意してください。

Nexus Dashboardとファブリックで同じユーザが設定されている場合、Nexus Dashboardユーザと同じログイン情報を使用して、ファブリックのコントローラに自動的にログインします。一貫性を保つために、Nexusダッシュボードとファブリック全体で共通のユーザによるリモート認証を設定することを推奨します。

